

製造請負優良適正事業者 認定事業者一覧(全48社/50音順)

2022年12月1日現在

株式会社アクティ	株式会社サンキョウテクノスタッフ	株式会社早川工業
株式会社アバンセコーポレーション	株式会社三幸コーポレーション	株式会社ビーネックスパートナーズ
株式会社イカイアウトソーシング	株式会社シグマテック	ビューテック株式会社
株式会社イカイインダストリー	株式会社ジャパングリエイト	株式会社ヒューマンアイ
株式会社イカイコントラクト	株式会社セントラルサービス	株式会社平山
株式会社イカイプロダクト	株式会社総合プラント	フジアルテ株式会社
株式会社ウィルオブ・ワーク	株式会社塚腰サービス	株式会社フジワーク
株式会社ウィルテック	株式会社テクノクリエイティブ	マルアイユニティー株式会社
株式会社エイジェック	株式会社テクノスマイル	株式会社ミヤザワ
株式会社エー・オー・シー	テクノレイク株式会社	ミライク株式会社
株式会社エス・エス産業	東洋ワーク株式会社	UTエム株式会社
株式会社カインズサービス	株式会社トーコー	由良アイテック株式会社
川相商事株式会社	株式会社トータルマネジメントビジネス	株式会社ワイズ
株式会社クリエイト	日総工産株式会社	株式会社ワイズ関西
株式会社グロップジョイ	株式会社日本ケイテム	株式会社ワークスタッフ
サンヴァーテックス株式会社	日本マニファクチャリングサービス株式会社	株式会社ワールドインテック

※認定の有効期間は3年間。更新審査あり。



過去の好事例は、パソコン・スマホから「GJ認定制度 好事例集」で検索!

GJ認定制度 好事例集

検索



制度の趣旨

認定制度は、「製造請負事業の適正化と雇用管理改善の推進」と「製造請負業界の市場競争の健全化」の2つを実現し、労働者の福祉の向上と発注者の製造業務の長期的な質的改善につながることを目的とし、厚生労働省が設けた制度です。適正な請負体制の推進、雇用管理の改善を実現するための管理体制・実施能力が認められた請負事業者を「優良適正事業者」として認定する制度です。

審査基準

経営方針

- 1 方針等の明示
- 2 方針等の周知
- 3 「非常時」の危機管理
- 4 派遣と請負の区分基準関連

ものづくり力

- 1 活動組織
- 2 ものづくり力の具現化
- 3 技能資格
- 4 「事業所責任者」の配置
- 5 「工程管理等責任者」の配置

ひとづくり力

- 1 「キャリアパス」の明示とキャリアコンサルティング
- 2 職業能力開発
- 3 能力評価

労働者保護

- 1 労働保険・社会保険の適用
- 2 雇用関係の確保
- 3 個人情報の保護体制
- 4 労働安全衛生の取り組み
- 5 ワークライフバランスへの配慮
- 6 相談・苦情処理の体制
- 7 法令の周知

製造請負優良適正事業者認定制度 (GJ認定制度)

好事例集

[2022年度版]



製造請負事業改善推進協議会

(事務局:一般社団法人 日本BPO協会)

CONTENTS

- 1 経営方針 プロ意識の製造請負、「GJ認定」が証明する一段上のコンプライアンス — 株式会社ヒューマンアイ
- 3 ひとづくり力 安心と安全を磨き人の成長を通じて質の高い請負サービスを提供 — 株式会社エー・オー・シー
- 5 労働者保護 「行動指針」を定め、安全で健康的な職場環境で「労働者保護」 — 株式会社ワイズ

好事例集について

これから認定を取得する事業者の参考となるよう、認定事業者の取組内容や工夫点、今後の課題などの紹介を行うとともに、認定取得による社内の変化や営業上のメリット、発注者からのポジティブな反応があった事例など認定取得による副次的効果を周知することで、認定制度の普及・啓発を推進する。

製造請負 なんでも相談室

オープン!!



請負・派遣事業者、メーカー、スタッフの方、どなたでもお気軽にご相談ください。

直通電話



03-6809-1054

受付時間

9:00~17:45

※土・日・国民の祝日を除く

FAX

03-6721-5362



kyogikai@yuryoukeoi.info

受託者事務局 一般社団法人 日本BPO協会



〒105-0004 東京都港区新橋4-5-1 アーバン新橋ビル9F



03-6721-5361



03-6721-5362

専用公式 サイト

<https://yuryoukeoi.info/>

経営方針

プロ意識の製造請負、「GJ認定」が証明する一段上のコンプライアンス

社名

▶ 株式会社ヒューマンアイ

主な請負事業

▶ 精密・電子部品など

本社

▶ 東京都



信頼される事業者として、ものづくりの一翼を担う意識の高い事業者を可視化できる「GJ認定」

発祥の地で本社を置く東京・八王子市は、多摩川や玉川上水などの水源に恵まれた「多摩エリア」にあり、製造系の大手メーカーの工場が集積しています。北は埼玉、南は神奈川、西は山梨に接し、物流面でも恵まれた立地です。2000年12月の創業時から「メーカーに信頼される請負事業者として、ものづくりの一翼を担う」との精神を貫いています。製造請負の分野は、宮城県古川、東京八王子と府中の3事業所で展開しており、精密・電子部品や自動車部品関連が中心です。現場では組み立て、検査、機械オペレーター、ライン作業、生産・品質・衛生管理など一連の業務を任されています。このうち、八王子みなみ野事業所はアミューズメント製品の製造が中心です。

請負事業に真摯に取り組む中で、2000年代半ばに業界の信頼を失墜させるコンプライアンス意識の低い事業者が世間を騒がせ、業界全体が批判された時期がありました。プロフェッショナルの製造請負ができる事業者とそうでない事業者が可視化できる仕組みはないかと考えていたところ、2010年に「GJ認定」が誕生。すぐに準備を始めて、初年度に認定を取得することができました。この認定がメーカーからの信頼の証(あかし)となり、受注要件になっていた業務もあったので光栄でした。

現場の最前線で活躍するスタッフをサポート 労働法制などの改正の動きに敏感に対応

「ヒトとヒトをつなぐ」——それがヒューマンアイの最大の役割です。多くの取引先から信頼をいただいているのは、何よりも現場のスタッフの活躍にあります。その大切なスタッフひとりひとりに安心して働いてもらえる環境づくりを経営方針の柱に据えています。仕事を探している時、仕事を実際に始めた直後などは誰でも不安を感じるものです。スタッフが抱える心配事を解消してあげて、生き生きと業務に集中して働き続けられるよう日頃からサポートしています。「ヒトとヒトをつなぐ」を土台に、製造請負という事業を通して、発注メーカーと弊社の双方にメリットが生まれる形を探求しています。

3年に一度の「GJ認定」の更新を3回クリアしている中で痛感するのは、コンプライアンスの重要性です。弊社では労働者派遣法や労働基準法、安全衛生法、個人情報保護法など、内容が年々強化されている法律にアンテナを高くして、改正・変更の動きに合わせ、迅速に対応できるよう取り組んでいます。その情報や対応は管理側の営業社員だけでなく、現場で働くスタッフとメーカー側にも伝えて啓蒙しています。コンプライアンスは一般的に法律や規則などの法令を守ることを指しますが、一段上の「社会からの要請に応える」ことを含めたコンプライアンスを実践しています。

01 安全第一、それが製造分野の全ての根幹 独自に「ヒヤリハット・安全標語募集」を展開

さまざまな職種のメーカーと取引があるため、弊社のスタッフは多様な現場と環境で就業しています。これを利点と捉え、メーカー主導で実施している各現場の安全衛生活動とは別に、「ヒヤリハット・安全標語募集」を展開して「ゼロ災」の意識を企業風土として根付かせています。ヒヤリハットで挙げられた内容をメーカーにフィードバックして情報を共有し、相互の安全につなげているのです。

2021年度の標語で入賞したひとつに「安全な仕事は幸福のもと 最初に安全を確認しましょう」があります。まさに、ものづくりのスタートは安全であり、安全なくして確かな品質の製品は納められません。また、健康でなければ安全意識が低下するので、「ヒューマンアイ健康通信」を定期的に発行して、スタッフの心身の健康増進にも努めています。

ヒューマンアイ健康通信



02 学べる環境づくり、資格取得を応援 メーカーと同じレベルの言葉と目線を重視

スタッフはいつも、発注者の各現場で業務に従事します。できるだけメーカー側と同じレベルの言葉で、かつ同じ目線で生産現場のことを考え、課題を共有して一緒に解決していく姿勢が重要です。そのためには、弊社の社員のたゆまぬスキルアップが不可欠であり、各種資格取得を推奨して力を入れています。単に取得費用をカバーするだけでなく、社内規定で勉強しやすい環境をつくって事前研修を実施するなど、社員とスタッフの自己啓発のバックアップに注力しています。

こうした取り組みが奏功して、第一種衛生管理者資格をはじめ、フォークリフト運転技能講習修了者、キャリアコンサルタントなどの所有者が毎年誕生。社員とスタッフ自身の成長とともに、メーカーからの信頼が広がっています。



03 外国人の採用を積極的に展開 応募から面接までの時間を短縮して成果



日本の労働力人口が減少する中で、外国籍スタッフの採用を積極的に展開しているのが特徴です。留学生や家族滞在者、永住・定住者、高度人材の外国籍スタッフを迎える中で、弊社も2019年に新設された「特定技能」の登録支援機関として登録されるなど、取り組みを強化しています。培ってきた高いコンプライアンス意識を生かして、働く外国籍スタッフと取引先の双方に喜んでもらえる運営に努めています。最も大切な採用においては、独自のLINE公式アカウントやFacebookを活用して登録者やフォロワーへの求人情報を展開。コロナ禍の影響で対面が難しいため、web面接を強化して

応募から面接までの時間短縮に成果をあげています。そして、日本のものづくりに欠かせない外国籍スタッフをより良い環境で迎え、ともに高め合っています。

Message

株式会社ヒューマンアイ 代表取締役会長 桐生 一郎

企業の存在には利潤の追求だけでなく、社会からの潜在的な要請があります。各種法令にも、制定に至るまでには社会からの要請があります。よって、法令遵守に加えて、社会的規範や企業倫理(モラル)を守ることも「コンプライアンス」に含まれるとした「フルセット・コンプライアンス」を提唱しています。それを基盤に、製造請負においてメーカーのニーズに沿ってカスタマイズしたプランを提案し、弊社独自の管理システムを用いた具体的な事業計画を準備して運営しています。



所在地 ▶ 東京都八王子市東町9-10
ECS 第35ビル 7F
TEL ▶ 042-643-2086
URL ▶ <https://www.human-i.co.jp/>

ひとづくり力

安心と安全を磨き
人の成長を通じて
質の高い請負サービスを提供

社名

▶ 株式会社イー・オー・シー

主な請負事業

▶ 半導体・電機電子部品など

本社

▶ 石川県



徹底した人材育成・人材開発が特徴
技術者養成の「AOCテクニカルセンター」

金沢市に本社を構え、北陸3県を中心に30年以上にわたり、ものづくりに貢献しています。わが社の特長は、徹底した人材育成・人材開発にあり、地域と産業の発展にしっかりと歩調を合わせています。AIの時代が人の仕事を奪うとも言われていますが、「人にしかできない仕事」が多く存在し、設備保全・修理・メンテナンス等の技術を有する人は強く求められているのです。そうしたエンジニアを養成し、輩出することが私たちのミッションです。

この方針を具現化しているのが、独自に設立した技術者養成の「AOCテクニカルセンター」です。技術者のための育成プログラムを技能レベルに合わせて用意し、ひとり一人の成長と企業の生産性の向上に直接つなげています。具体的には機械保全技能士2級レベル相当の技術が習得できる3つの育成ステージがあり、「有接点シーケンス制御」「メカトロ訓練装置」「真空装置」の各研修で構成されています。

指導者には大手電機メーカーの第一線で長年活躍した顔ぶれをそろえ、「一流のプロフェッショナル」によるサポート体制により、実践的且つ高度な技能習得を体感することができます。この姿勢を貫く中で、働く人とメーカーの信頼の証(あかし)である「GJ認定」の取得は当然の流れであり、基礎となる「経営方針」「ひとづくり」「ものづくり」「安全衛生」の4つの体制を整えて2011年度に認定を取得しています。

「創造」「利益」「挑戦」「人材」をキーワードに邁進
高い意識の土台にある「安全衛生活動」

製造請負事業を通して正しい価値を提供することがわが社の使命であり、私たちにかわるすべての人をハッピーにしたいと日々奮闘しています。設立から30年を経過した現在も「創造」「利益」「挑戦」「人材」をキーワードとする事業指針を貫いています。「創造」は価値ある仕事と価値ある人材を意味しており、「利益」は弊社と発注メーカー、従業員、社会のすべてを指します。「挑戦」は環境変化や困難を乗り越えて高い目標に挑む精神です。そして、わが社が中心に据える「人材」として、気迫・執念のあるタフなビジネスパーソンを育成し、創意工夫で企業の責任を果たしています。

こうした高い意識の土台にあるのは安全衛生です。技術レベルの飽くなき探求とともに製造請負事業者として欠くことのできない視点であり、従業員が健康でケガをせずに働ける環境づくりに努めています。「ゼロ災害」「健康管理の徹底」「過重労働の抑制」「法令順守と資格取得の推進」を掲げ、安全衛生教育やヒヤリハット教育、安全衛生の観点からのものづくり研修、安全パトロールなどの活動を定期的に展開しています。

明確な理念を定めて常に成長を意識し、安全・安心の作業環境をつくりあげること、おのずと発注メーカーに質の高い請負サービスを提供することができます。「GJ認定」の4つの基準を満たすことで高度な生産管理を実現しています。

01 リアルな体験を通じた技能習得が現場力に
代替のきかない存在を目指して「人材」を磨く

「AOCテクニカルセンター」は、実戦での体得を意識したシンボリックな育成プログラムです。「有接点シーケンス制御」は製造業などの現場で使う機械・装置の自動化に必須で、電気制御部品の機能・回路の構成・配線作業を習得します。「メカトロ訓練装置」では製品を加工・検査する際の機械要素や機械性能などを習得します。また、半導体製造や研究機関に欠かせない「真空装置」について、真空の原理や真空装置の維持管理・メンテナンス等の知識・技能を習得します。

座学での学びには限界があり、発注メーカーの期待に応える品質を保つにはリアルな体験を通じた習得が必要です。高度な技術を有することで、発注メーカーにとってわが社が代替のきかない存在になることを目指して「人材」を磨いています。



02 昇進の道筋を「見える化」したキャリアパス
「評価・教育・資金」でモチベーションとスキルを向上

個人の能力が最大限発揮できるように、昇進の道筋を「見える化」したキャリアパスを公開。職種別の評価基準を設け、それぞれの自己の成長と処遇がリンクしている人事評価制度を導入しています。スペシャリストコース(専門・技術職、生産管理職)、事業所マネジメントコース(現場職)、総合職コース(経営戦略)の3軸に整理し、「評価・教育・資金」をミックスしてモチベーションとスキルの向上を促進しています。

また、オリジナル教材を用いた教育訓練やEラーニング、資格取得支援など、ニーズに合わせて多彩な教育メニューで支援しています。定期的にキャリアコンサルティングを実施して将来に向けたスキルアップを応援しています。こうした背中を押すアクションと同時に、社員のコミュニケーションづくりや就業後のケアなどにも心を配っています。



03 レベルと向上心に合わせた研修メニュー
コア人材の育成と専門的な教育訓練を展開

コア人材の育成と専門的な教育訓練を展開しています。「スキルアップ研修」では社員全員を対象に社会人として必要なビジネスマナーやものづくりに必要な基礎知識、安全衛生教育を実施。質の高いサービスの提供の基となる教育を全体標準として備えてもらいます。次に、「リーダー研修」として、実践的なモノづくり教育、問題解決・改善力養成教育、基礎的なマネジメント教育を実施。「管理者育成研修」では、マネジメントスキル、ビジネススキル、ものづくり力、工程管理など専門的な教育訓練を展開しています。それぞれのレベルと向上心に合わせた研修メニューで、「ひとづくり」と「ものづくり」を連動させ、社員と会社の成長につなげています。



Message

株式会社イー・オー・シー 代表取締役社長 本多 温史

社会は日進月歩で、時代は秒進分歩です。人材サービス業は進化を迫られていますが「人材を成長させる」ことが本質であり、人の成長を通じてクライアント企業の成長に貢献していきます。事業の本質と社会の要請をマッチングさせれば、私たちの未来指標は明らかになります。エンジニアを中心とした人材のプラットフォーム、あるいは「プロフェッショナル輩出企業」として進化を遂げています。



株式会社イー・オー・シー

所在地 ▶ 石川県金沢市広岡1-3-20
ファーストレーベン広岡1F

T E L ▶ 076-222-9239

U R L ▶ <https://www.aoc-net.co.jp/>

労働者保護

「行動指針」を定め、安全で健康的な職場環境で「労働者保護」

社名

▶ 株式会社ワイズ

主な請負事業

▶ 電子部品、入出荷業務など

本社

▶ 石川県



「GJ認定」取得でレベルの高い請負事業者を証明
発注先に改善の提案を積極的に展開中

石川、富山、福井の北陸3県を地盤に、電子部品の製造や工場に併設した倉庫で入出荷業務なども請け負っています。取引先構内での請負に加え、自社工場の「テクニカルセンター」を持っており、そこでは医療機器部品の組み立てや半導体の装置に使われるハーネスの加工を行っています。製造請負のニーズは主に大手の発注先から挙がり、これに呼応するように始めました。ものづくりに向き合う中で、「GJ認定」を取得してレベルの高い請負ができることを証明したいと考え、それが発注先と働く人の双方からの信用にもつながり、未整備な部分に気づいて補強することができます。

請負事業を営む私たちのモットーは社員により良い環境で、やりがいを感じてベストの仕事ができるようになってもらうことです。働き方改革をはじめ、さまざまな観点のコンプライアンスも重視される中で、特に労働安全衛生法と労働基準法など法律遵守は重要と考えています。その遵守が社員の働く環境全般の基礎となります。

「ものづくり」に取り組む姿勢として、発注先に改善の提案を積極的に推進しています。「GJ認定」の審査の場となった事業所では、その先頭を走ってもらうために提案活動を強化し、更に磨いていく方針です。スタッフが自ら業務に責任を持ちながら取り組み、メーカーに貢献できる。請負事業所は特にスタッフ一人一人がこの意識を持つことが大切です。

テクニカルセンターを縦横に活用して人材育成
キャリアアップが請負の水準維持には不可欠

テクニカルセンターを縦横に活用して人材育成に注力しています。請負の醍醐味は、ものづくりの設備や知識、そして教育においても発注先より弊社にもノウハウが蓄積されている姿です。たとえ不況が襲ってきても、発注先が弊社に任せている工程を切り離すことができない、というだけのレベルに磨き上げるかどうかです。生産性と品質が請負先と同等のレベルかそれ以上を目指しています。また、自社工場では、悩みを抱えて仕事している社員に目が届きやすく、見過ごさないように支援できるというメリットがあります。

発注先の工場の作業は教育訓練という観点から有益です。発注先の優れた作業工程やノウハウを近い場所で学ぶことができます。そのような相乗効果で実力をつけていくことで展開が開け、10年来のお付き合いのあるメーカーさんが建屋を増設した際には、新建屋全体がほぼ弊社専属の入出荷請負部門となりました。

社員のキャリアアップが請負の水準維持に不可欠で、教育支援の一環として定期的な面談をして次に挑戦する道筋を示しています。本人の意向を聞いて、それに適した研修にあてはめていくことで効果的な育成につながっています。総合すると、「GJ認定」の4つの方針は、取得前から弊社が意識してやってきた行動規範が認定に合致したという認識です。

01 安全衛生基本方針を定め、「安全」「身体とところ」を維持
過重労働対策として負荷軽減の方策を派遣先に提案

弊社は「安全衛生基本方針」を定めて、請負現場の社員を含む全従業員の「安全」と「身体とところ」の健康確保に努めています。重点実施項目は、毎年1月1日に定め、現場感覚を重視しており、直近では「災害防止対策」「安全教育の強化」「健康確保・職業性疾病预防対策」「メンタルヘルス対策」「過重労働対策」——の5本柱を掲げています。

この方針に基づいて、現場実態に即した具体的な実施内容が固まり、災害の発生要因別の事故の分析と再発防止対策の構築や、ヒヤリハットを通じての災害リスクの低減活動、管理者に対する健康経営についての教育と全従業員の健診結果の有所見者に対するフォロー、こころの健康教育、過重労働対策として負荷軽減の方策を派遣先に提案しています。



02 最大の特徴である「基本方針」、ホームページでも広く宣言
「人材育成」が重要、専門的知識能力などを高め活動を展開



弊社の最大の特徴である基本方針は社内だけでなく、ホームページで公表しています。このうち、「経営理念」では雇用や教育を通して人を大切にし、人を活かし、人を育て、社会に貢献することを宣言しています。請負事業を介して企業の生産活動の一翼を担い、最良のビジネスパートナーとして企業に貢献することも掲げています。これを実現するには「人材育成」が重要となり、社員の実務における専門的知識能力や対人関係能力、課題対応力を高める育成に注力しているほか、最適な教育機会の提供によってキャリア形成支援を積極的に実施しています。

また、「キャリアコンサルティングマニュアル」に基づき、社員がキャリア志向を醸成して、適切なキャリアパスへと導いていけるように「キャリアコンサルティング」を重視して展開しています。

03 人が財産、社員の労働環境の維持・向上は支柱
社員が持つ能力を最大限発揮できる機会をつくる

請負事業者が特に留意すべきコンプライアンスとして、労働関係があります。人が財産の弊社にとって、社員の労働環境の維持・向上は支柱となるものです。これも「労働方針」という項目を立てて社内に常に浸透を図っています。「労働条件の維持・改善」を先頭に、「人権の尊重」「多様性の理解と尊重」「プライバシーの尊重」「ハラスメントの禁止」「労働時間・休日」「賃金」——の7項目を重要視しており、この視点が働く現場の環境づくりのベースとなっています。

この「労働方針」を実現するために、社員が持つ能力を最大限発揮できる機会をつくり、ゆとりと働きがいを実感できる雇用環境づくりや労働条件の維持・改善に努めています。また、「賃金」という労働の対価で生活の糧を重んじ、労働関係法令を遵守した上で、遅滞なく社員に超過勤務手当を含めた賃金を支払うことを徹底しています。



Message

株式会社ワイズ 代表取締役社長 北島 将都

ワイズは石川県金沢市で生まれ育ち、北陸最大級の人材サービス会社へと成長してきました。ここまで大きくなったのは、地元の企業や派遣社員に恵まれたおかげです。地域の事情に合わせていくことにより、お互いのより良い関係を築けると考えております。人材総合サービスによる「法令と道徳を重んじる企業」として21世紀の業界をリードし、社会に貢献します。



所在地 ▶ 石川県金沢市駅西新町3-1-10
ニュースビル2F
TEL ▶ 076-260-4466
URL ▶ <https://www.k-wise.co.jp/>